

はこの食堂の北側に玄関があったのではないかと思う。

たしかに茶人が隠棲するには、これは格好の家であった。身近に迫る二の谷川のせせらぎと、日によってあるいは激しい、あるいはかすかに聞こえる松籟とは茶人の心耳をすますに十分であり、宵には、一町半ばかりの南の浦から潮騒の音や漁夫の船歌がひびいてくる。松林を通りぬけて国道に出ると、当時はまだ電車が通じていなかったもので（塩屋まで通じたのは大正二年五月）あまりほこりは立たず、毎日どこからか老夫婦が屋台を運んで来て、馬車、手車をひく人々に餅を売るといふのどかな光景に接することができた。そうしてこの谷川の小さな鉄橋をくぐりぬけると、文字通り青松白砂の須磨浦であって、散歩には好適である。それに家の西側の坂を一町ばかりのぼると、そこは鉄拐の峰がなだらかな傾斜をなしていて、須磨療病院があるから、医者的心配もないのである。ただなにぶんにも谷間の家であるので、うすぐらい感じのするのが難といえは難ではあるが、しかしそれだけに茶人の隠棲には格好の家であった。

(つづく)

商工評論 辰巳の巻に就いて

商工評論 第16号 (月2回10日・25日発行) 昭和40年9月10日号

自由経済時代と泳ぐ
辰巳の巻

女太閤記
鈴木よね刀自の大器量

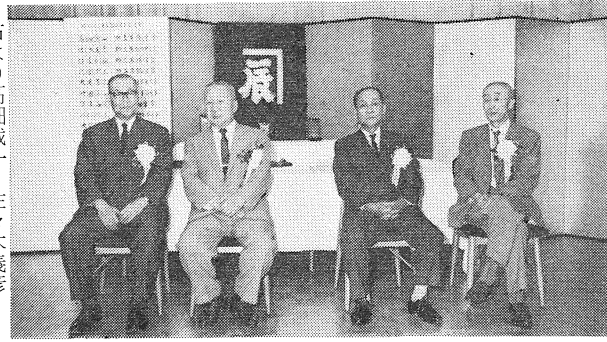
帝人株式会社
神戸製鋼所
日商株式会社

台風二十三号襲来の十日程前の事である。「松方、金子物語」著者藤本光城君から彼の友人北村清君主幹の商工評論に鈴木商店の記事を掲載するに就てその資料を是非提供して貰いたいと北村君同道

切なる申入れがあり事先代柳田富士松にも及ぶので今回鈴木よね子刀自を中心にその企てに極力尽力した。目下江湖に鈴木を取り上げる刊行部中に三鬼陽之助著「日本銀行家」の如き事実無根の記事さえ現われるので柳田家として同紙に特に配布させて載く事とした。而してたつみ会不変の恩恵に對し心から感謝の意を表すことにしました。 四〇・九・一〇(柳田)

辰巳会叙勲並に褒章 受賞者祝賀会

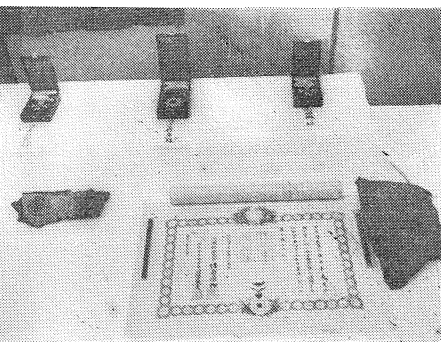
昭和四十年六月二十九日(火)・於東京クラブ関東



右より高畑誠一 佐々木義彦 勝屋利秋 六岡周三の各氏

本年度春の叙勲に当り九名に上る我が辰巳会会員の受賞者を、又引続き六月一日発表の藍綬褒章受賞の会員二名を数えましたことは受賞各位御一門の御光栄は申すまでもなきことながら我等辰巳会会員に取りても同門の大なる誇りとする次第でありますので光栄の左記諸氏(年令順)即ち高畑誠一(勲三等瑞宝章)佐々木義彦(勲三等瑞宝章)小田嶋彦三(勲四等旭日中綬章)小田嶋彦三(勲四等旭日中綬章)勝屋利秋(勲三等瑞宝章)賀集益蔵(勲二等瑞宝章)六岡周三(勲二等瑞宝章)展示願い一般参会者の関覧に供し大幡久一(勲四等瑞宝章)竹田儀一(勲二等旭日重光章)大屋直三(勲二等旭日重光章)山本鍊造(藍綬褒章)曾我野秀雄(藍綬褒章)の十一氏を祝賀のため本東京クラブ関東に御招待申上げましたところ夫々の御都合に依り高畑、佐々木、勝屋、六岡の四氏のみ御出席あり四氏の御高配によりその光栄を物語る勲章並に勲記を会場正面

にしつらえたる卓上に御展示願ひました。又その正面壁には柳田義一幹事の御寄贈にかかる旧鈴木商店のシンボル風の暖簾誇らしげに掲げられ鈴木色を一際鮮かに盛上げました。宴会形式 パツフェ方式参会者来賓共八五名(別表の通り)定刻午後六時開会鈴木丸衛幹事司会の御挨拶を小野幹事述べたのち西川政一幹事辰巳会を代表して叙勲、褒章受賞各位の榮譽を称える祝辞を述べ次で司会者より浅田長平先輩その他より寄せられたる祝電の披露あり終つて長老北村徳太郎先輩の音頭によつて一同来賓四氏の御栄誉とその御健康のための慶祝の乾杯を挙げました。会食欲談小刻の後高畑、佐々木、勝屋、六岡四氏より御感想並に謝辞を述べられ会衆に深い感銘を与えられました。引続き十河一正幹事より公務報告あり太陽鋳工、神戸製鋼、帝人、日商の四社が先般辰巳会法人会員となりたること等を



披露されましたがその後御来会中の坂本寿日本発條社長より同社も法人会員御参加の旨御申出あり一同感激した次第であります。次で柳田義一幹事より辰巳会善意の誕生を報告し本日の辰巳会会合を第一回として発足爾今各例会毎に実施致度旨を述べ会員の理解と応援を求めたる後会場に喜捨函を廻したるころ立ちどころに篤志諸賢の応募金額四三、六〇〇円に上り幸先よき結果を喜び合いました柳田幹事よりは右の外鈴木合名会社関係諸会社一覽表作製頒布の計画をも併せて発表されました。

次に会員久塚磨氏より文芸春秋編集月刊雑誌「文学界」に昨年十月号より連載中の旧鈴木商店の活動を材料とする「嵐」の執筆者城山三郎氏(今夕来賓として参会予定のところ御欠席)の御紹介あり「嵐」を今後我が「たつみ」に転載方を同氏に交渉致し度旨御発言があり喝采を呼びました。宴酣にして余興として西川幹事の「謡曲」



写真は東京クラブ関東における祝賀会